



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松原 さや子 (TEL) 052-218-8785
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	348	11.1	△647	—	△665	—	△727	—
2023年12月期第3四半期	313	1.6	△457	—	△453	—	△443	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △727百万円 (—%) 2023年12月期第3四半期 △455百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△21.61	—
2023年12月期第3四半期	△14.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,191	1,019	46.4
2023年12月期	2,373	1,279	53.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 1,016百万円 2023年12月期 1,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400	△6.6	△1,500	—	△1,510	—	△1,510	—	△47.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	37,975,512株	2023年12月期	32,128,012株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	286株	2023年12月期	286株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	33,645,372株	2023年12月期3Q	31,662,901株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概要

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

上市品（眼科手術補助剤「DW-1002」（単剤及び配合剤）、緑内障治療剤「グラナテック[®]点眼液0.4%（以下、「グラナテック」）」、緑内障治療剤「グラアルファ[®]配合点眼液」）については、ライセンスアウト先において順調に販売されております。

開発パイプラインについては、共同開発品である神経疼痛治療薬「DW-5LBT」が1月に再申請を行いました。7月に審査完了報告通知を受領いたしました。現在、FDA指摘事項に適切に対応すべく、対応を進めております。また、再生医療用細胞製品「DWR-2206」は3月に国内第Ⅱ相臨床試験の治験計画届書を独立行政法人医薬品医療機器機構（PMDA）に提出し、7月に第一例目の被験者への移植を実施いたしました。その後の経過観察により第二例目以降の治験の継続に必要な安全性評価が得られましたので、引き続き、本試験の評価を進めております。自社開発品である緑内障治療剤「H-1337」は8月に米国後期第Ⅱ相臨床試験の被験者への投与が完了いたしました。現在、試験データの解析を進めております。その他、ライセンスアウト済み開発品についてもそれぞれ開発を進めました。

研究プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び大学等との共同研究を推進いたしました。

以上の結果、売上高については、各上市品のロイヤリティ収入等により、合計348百万円（前年同期比11.1%増）を計上し、売上原価に33百万円（前年同期比22.2%増）を計上しました。なお、「グラナテック」の日本については、9月にロイヤリティ受領期間が終了いたしました。

販売費及び一般管理費については、962百万円（前年同期比29.4%増）となりました。その内訳は、研究開発費が「H-1337」及び「DWR-2206」の開発費用の増加等により767百万円（前年同期比40.7%増）、その他販売費及び一般管理費が195百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

これらにより、営業損失は647百万円（前年同期営業損失457百万円）、経常損失は営業外費用に新株発行費8百万円を計上したこと等により665百万円（前年同期経常損失453百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は特別損失に転換社債償還損60百万円を計上したこと等により727百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失443百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下のとおりです。

①上市品

製品名等		対象疾患	地域	ライセンスアウト先	
DW-1002	ブリリアントブルー-G	ILM-Blue [®] 、TissueBlue [™]	内境界膜染色	欧州・米国等	DORC
	ブリリアントブルー-G/トリパンプルー	MembraneBlue-Dual [®]	内境界膜、網膜上膜及び増殖硝子体網膜症における増殖膜染色	欧州等	
リパスジル塩酸塩水和物		グラナテック [®] 点眼液0.4%	緑内障・高眼圧症	日本、アジア(注)	興和
リパスジル塩酸塩水和物／プリモニジン酒石酸塩		グラアルファ [®] 配合点眼液	緑内障・高眼圧症	日本	

(注) 日本は9月にロイヤリティ受領期間が終了いたしました。アジアは一部地域についてロイヤリティを受領しております。

②開発パイプライン

開発コード等		対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
K-321	リバスジル塩 酸塩水和物	フックス角膜内皮変性症	第Ⅲ相臨床試験	米国、欧州等	興和
DW-1002	ブリリアント ブルーG	内境界膜染色	申請	中国	DORC
		水晶体前嚢染色	第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬
	ブリリアント ブルーG／ト リバンブルー	内境界膜及び網膜上膜染色	申請準備中	米国	
DW-1001		眼科用治療剤（非開示）	第Ⅰ相臨床試験	日本	ロート製薬
H-1337		緑内障・高眼圧症	後期第Ⅱ相臨床試験	米国	自社開発
DW-5LBT		帯状疱疹後の神経疼痛	申請	米国	メドレックスと共同 開発
DWR-2206		水疱性角膜症	第Ⅱ相臨床試験	日本	アクチュアライズと 共同開発

③研究プロジェクト

当社グループは、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬候補化合物の創出を行っております。プロテインキナーゼを対象とする疾患は様々ですが、特に眼科関連疾患に注力した研究を推進しております。また、自社の創薬基盤技術を活かし、他社との提携を積極的に推進しております。

主なプロジェクトとしては、眼科関連疾患や神経系、呼吸器系疾患等を対象としたシグナル伝達阻害剤開発プロジェクトを当社研究所（国立大学法人三重大学の研究施設）において行っております。また、大学等との共同研究においては、当社開発品の適応拡大や眼科関連疾患を対象に複数のプロジェクトを進めております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末から181百万円減少し、2,191百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から152百万円減少し、1,985百万円となりました。主な要因は、前渡金が490百万円、売掛金が48百万円増加した一方で、現金及び預金が706百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から28百万円減少し、206百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が30百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から78百万円増加し、1,172百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から86百万円減少し、107百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が9百万円増加した一方で、未払金が94百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から165百万円増加し、1,064百万円となりました。主な要因は、転換社債型新株予約権付社債が606百万円減少した一方で、社債が577百万円、長期借入金が193百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から260百万円減少し、1,019百万円となりました。主な要因は、新株予約権の行使等により資本金及び資本剰余金が各々232百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が727百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は46.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期連結業績予想につきましては、2024年2月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、創薬研究及び臨床開発費用が収益に先行して発生する等の事業特性上の理由から継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社グループは保有する開発パイプラインの順調な開発進捗による早期上市、開発パイプラインの拡充による更なる収益機会の獲得を進め、さらに、現在実施している資金調達を進めることにより研究開発に必要な資金を確保してまいります。

資金面においては、継続的なロイヤリティ収入及び開発費用のコントロール並びに主力金融機関及び投資会社との良好な関係のもと適時に実施している資金調達により、当第3四半期連結会計期間末において1,160百万円の現金及び預金残高を有し、当面の事業活動を展開するための資金は確保できております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,867,264	1,160,528
売掛金	117,144	165,247
貯蔵品	87,863	102,778
前渡金	17,192	507,737
その他	48,495	49,061
流動資産合計	2,137,959	1,985,353
固定資産		
有形固定資産	10,010	12,855
無形固定資産		
契約関連無形資産	82,285	51,428
その他	4,224	3,523
無形固定資産合計	86,510	54,952
投資その他の資産		
その他	150,191	150,040
貸倒引当金	△11,301	△11,239
投資その他の資産合計	138,890	138,800
固定資産合計	235,411	206,608
資産合計	2,373,371	2,191,961
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	9,524	19,048
未払金	161,362	66,757
未払法人税等	11,708	7,718
その他	11,412	14,144
流動負債合計	194,008	107,667
固定負債		
社債	—	577,500
転換社債型新株予約権付社債	606,122	—
長期借入金	269,476	463,190
その他	24,000	24,000
固定負債合計	899,598	1,064,690
負債合計	1,093,606	1,172,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,617	1,063,750
資本剰余金	2,889,857	3,121,989
利益剰余金	△2,442,372	△3,169,569
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,279,101	1,016,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36	△144
その他の包括利益累計額合計	△36	△144
新株予約権	699	3,577
純資産合計	1,279,764	1,019,603
負債純資産合計	2,373,371	2,191,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	313,994	348,913
売上原価	27,730	33,885
売上総利益	286,264	315,028
販売費及び一般管理費		
研究開発費	545,612	767,463
その他	198,289	195,212
販売費及び一般管理費合計	743,901	962,675
営業損失(△)	△457,637	△647,647
営業外収益		
受取利息	10	76
為替差益	7,394	—
貸倒引当金戻入額	—	61
その他	11	14
営業外収益合計	7,416	152
営業外費用		
支払利息	1,816	3,548
株式交付費	1,396	1,502
支払手数料	376	140
新株発行費	—	8,686
その他	137	4,014
営業外費用合計	3,726	17,892
経常損失(△)	△453,947	△665,387
特別損失		
転換社債償還損	—	60,612
特別損失合計	—	60,612
税金等調整前四半期純損失(△)	△453,947	△725,999
法人税、住民税及び事業税	1,196	1,196
法人税等合計	1,196	1,196
四半期純損失(△)	△455,144	△727,196
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,223	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△443,920	△727,196

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純損失(△)	△455,144	△727,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	△107
その他の包括利益合計	73	△107
四半期包括利益	△455,070	△727,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△443,846	△727,303
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,223	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、第12回新株予約権の行使等がありました。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ232,132千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,063,750千円、資本準備金が3,121,989千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	35,738千円	36,813千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。